

編集後記

日本鉄鋼協会が漸体制に移行後はじめての編集委員会が先日開催されました。従来と大きく異なるのはこれまで、別個にあった和文誌と欧文誌の編集委員会が統合されたことでしょうか。編集委員会を統合することによるメリット、デメリットはいろいろと挙げられるでしょうが、最大のメリットは投稿論文の評価を同一の委員会で行なうことにより、統一できることだと思います。

反対にデメリットは編集委員の負担が大きくなる恐れがあることですが、これは委員の数を増やすことで対処できるのではないかと思います。私にとって新編集委員会での最初の仕事は投稿論文の査読者の決定（多分、この1ヶ月間で20人以上）、論文の査読（3報）と突如事務局からの電話で飛び込んできたこの編集後記を5月の連休中に書き上げることです。これまで、3年以上欧文誌の編集委員として微力を尽くしてきました

たが、欧文誌には編集後記の欄がなく、この「鉄と鋼」に編集後記を書くのははじめての仕事です。あまり読者の目に触れないので、何を書いてもいいのではないかと思いつつも、いざ、ワープロに向かうと、何をテーマにしようかといろいろと悩むものです。研究論文の制限ページ数は少ないことにいつも悩まされますが、編集後記の字数制限は予想していた以上に多く、如何に指定の字数に到達しようかとあれこれ取り留めのないことを書いてしまいました。文才とはやはり天賦の才能でしょうか。我々、研究者にとって編集後記は学生にとっての卒業論文のようなもので、慣れないとろくなものは仕上がらないという見本のような編集後記になってしまいました。

読者の皆様には和文誌、欧文誌への投稿、査読などでこれまで以上の温かいご支援をお願いします。
(K. N.)

論文誌編集委員会（五十音順）

委員長 馬越 佑吉（大阪大学） 副委員長 前田 正史（東京大学） 渡辺 忠雄（東北大学）

分野担当幹事委員

相澤 龍彦（東京大学） 江阪 久雄（新日本製鐵(株)） 野城 清（大阪大学）
日野 光兀（東北大学） 三島 良直（東京工業大学）

専門委員

有山 達郎（NKK） 小熊 幸一（千葉大学） 尾崎 龍夫（九州大学）
川並 高雄（金沢工業大学） 北川 孟（豊橋技術科学大学） 栗林 一彦（宇宙科学研究所）
佐藤 進（川崎製鐵(株)） 長 隆郎（名古屋大学） 津崎 兼彰（京都大学）
藤井 徹也（川崎製鐵(株)） 藤村 貞夫（東京大学） 向井 楠宏（九州工業大学）
村上 健児（大阪大学）

連絡先

本部事務局 〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階 TEL03-3279-6021(代) FAX03-3245-1355

鉄と鋼 定価 4,000円（消費税本会負担）

Tetsu-to-Hagané Price : ¥4,000 (Free of seamount charge)

昭和23年10月11日 第3種郵便物許可 平成7年6月25日印刷納本 平成7年7月1日発行（毎月1回1日発行）

編集兼発行人 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館内 島田 仁

印刷人 東京都新宿区榎町7番地 大日本印刷株式会社 印刷所 東京都新宿区榎町7番地 大日本印刷株式会社

発行所 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階/社団法人日本鉄鋼協会

〒100 電話東京03 (3279) 6021 郵便振替 口座東京00170-4-193番（会員の購読料は会費に含む）

©COPYRIGHT 1995 社団法人 日本鉄鋼協会

複写される方に

本誌に掲載された著作物を複写する場合は、本会が複写権を委託している次の団体に許諾を受けて下さい。

学協会著作権協議会内複写権センター支部

〒107 東京都港区赤坂9-6-42-704 TEL.(03)3475-4621・5618 FAX.(03)3403-1738

また、本会は上記団体を通じて米国Copyright Clearance, inc.と、また本会独自に米国Institute for Scientific Informationと複写権に関する協定を結び双方に本誌を登録しています。従って、米国において本誌を複写される場合は次のいずれかの機関の指示に従って下さい。

・ Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA01923 USA TEL.001-1-508-750-8400 FAX.001-1-508-750-4744

・ Institute for Scientific Information

3501 Market Street Philadelphia, PA 19104 USA TEL.001-1-215-386-0100 FAX.001-1-215-386-6362

表紙デザイン 原 敏幸